

日工會報

第 6 号
 平成10年11月25日
 発行 日立工業高校同窓会
 発行者 同窓会事務局
 日立市城南町2-12-1
 ☎ 0294 (22) 1049
 FAX 0294 (21) 4591
 印刷所 協立印刷
 ☎ 0294 (35) 7857

会長挨拶

同窓会会長 小林 啓一



会員の皆さまには、お元気に各分野でご活躍のことと推察いたします。

同窓会会報、第六号が発行されることになりました。各支部、会員の皆さまのご支援により、広報係の方のご努力により発行出来ますこと、お礼申し上げます。

去る六月二十日(土)に平成十年度の総会・評議会を開催し、会務の報告、決算報告、事業計画が別記の通り、承認をいただきました。尚、総会の概要については、会報に掲載されておりまして、ご覧願います。

さて、今春の卒業生をもって同窓会の会員は一人余となりました。創立以来五十六年、歴史と伝統の重みを感じます。会員の皆さま

まが各界、各層での活躍を誠に喜ばしく思います。

特に先行き不透明な日本経済環境において今日、巣立っていく生徒達が進学、就職に良い成果を得ていることは生徒の努力は勿論ですが、同窓諸兄のご活躍の影響が大いにあると思っております。

各部の活動も活発で、昨年に続き定時制の生徒達が陸上及び、ソフトテニスの全国大会出場を果たしました。全日制におきましても野球、サッカー、陸上、剣道、卓球、バレーボール、バスケット、バドミントン等の活躍が大いに期待できるようです。

総会の席上で小祝校長先生よりお話がありました。が学校の「活性化」の目的で本校は昨年度からサクライズハイスクール研究指定を受け資格取得の学習等に生徒、先生が一体となり取り組んでいるところと

同窓会においても、深く皆さま方のご理解とご協力により教育環境の整備等(学校案内のパンフレット・野球の応援団のユニホーム)のお手伝いを致してまいりました

が、今年度も生徒達の「活性化」を目的にして一流講師の講演会を学校と相談しながら計画を進めていきたいと考えております。

最後になりましたが、役員一同力を合わせて同窓会の発展、充実に努める所存ですので各支部、会員の皆さまのご協力を心からお願い申し上げます。

学校長挨拶

学校長 小祝 正盛



会員の皆様には、お元気で、各界におきましてご活躍のことと察します。また、常日頃本校の教育活動につきまして、多大の御支援御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

創立五十六周年を迎えました母校も、全日制、定時制合わせて六百五十有余名の生徒を擁し、活発な教育活動が行なわれているところであります。また、今春の卒業生が巣立って、本会の会員も一人(正しくは一万六百名)となりました。このことは、私達教職員も、大変誇りに思いますとともに、本校の伝統に深い敬意を表わ

す次第です。

さて、長引く不況の中きびしい就職状況が続いております。紙面をお借り致しまして、今年度の生徒の進路状況をのべてみます。今年度は、就職氷河期と言われました昨年、一昨年よりさらにきびしさを増しております。私達も、危機感を深めまして、四月以来、再度の企業訪問、卒業生を招いての進路講話、三者面談等をもって対策を重ねてきました。担当の先生の話では、求人数は昨年の三割減ということですが、現三年生は、全定合わせて、二百十名おりますが、このうち、就職希望者は、約七割というところです。現在、生徒たちは、就職試験をすませ九三%が内定しております。(県内高校生の内定率は九月末で五一%です)次に進学については、約三割の生徒が進学を希望しております。高校生全体を見ますと、大学等への進学率は上昇しておりますが、本校においては、ほぼ横ばいです。今春、四年生大学へは十四名進学致しました。残りは、短大、専門学校等です。生徒減少の進む中、高等学校も大きな転換期にあります。教職員一丸となつて、特色ある学校づくりを進めてゆきたいと思っております。同窓会の皆様には、今後とも母校発展のためお力添えを賜りたくお願い申し上げます。

0294 6200